



ごあいさつ

盛夏の候 格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

2022年度の日本経済は、コロナ禍による行動制限が徐々に緩和され、経済活動が正常化に向け動きつつあったものの、ロシアによるウクライナ侵攻等により、資源価格の高騰や食品・生活物資の値上げが相次いだことで、消費者動向に影響を及ぼす等、不確定要素の多い状況でした。

稚内市を中心とする主営業地区においては、全業種で慢性的な人手不足の問題を抱える中、前年度に続きホタテ・サケを中心に水産業関連が好調に推移したほか、コロナ禍の影響が大きかった宿泊業や飲食業にも回復の兆しが見られました。

また、建設業では資材や原油価格高騰の影響から工事の遅れや延期の動きがあった一方、外国人技能実習生の受け入れやICTを活用した建設現場の生産性向上に取り組む新しい動きも見られました。

このような経営環境の中、当金庫の預金は期中平均残高で前期比1.53%増加、貸出金は、新型コロナウイルス感染拡大初期の資金繰り悪化懸念が落ち着いたこともあり、前期比1.60%減少となりました。

収益面では、収益環境が厳しい中、国債等の保有有価証券売却益を確保した結果、経常利益で7億97百万円、税引後の当期純利益は5億68百万円とすることができました。

剰余金処分の結果、地域経済を支える原資と位置付けております配当負担の無い利益剰余金は519億53百万円となり、自己資本比率も60.97%と高水準を維持することができました。

当地区は依然として高齢化と急速な人口減少に直面していますが、行動制限緩和による観光関連の需要回復など、今後の地域経済活性化が期待されております。

地域社会の持続可能性を高めるため、〈地元と共に繁栄します〉を掲げる信条の下、地域の皆さまと共に役職員一同不断の努力を傾注して参りますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

2023年7月

理事長 **増田雅俊**

CONTENTS [主な内容]

P 1 信条・マークコンセプト

P 2 金融仲介機能のベンチマーク

P 4 人財

P 6 地域貢献・トピックス

P 9 お客さまとの相互交流

P 10 健全経営

P 12 自己資本

P 14 開示債権の状況

P 15 貸出金等の償却・引当基準

P 16 市場占有率

P 17 総代会機能

P 20 沿革・歩み

P 21 稚内しんきんの概要

P 22 店舗のご案内